



2011～2012年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2011～2012年度
国際ロータリー・テーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー

国際ロータリー2720地区 中津平成ロータリークラブ

会長 二反田新一 幹事 若松 定生 会報担当 加来 敏男 クラブ広報委員長 川崎 潤

例会日/毎週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

e-mail office@n-heisei.org

<http://www.n-heisei.org/>

第1037回例会 平成23年8月18日(木)

●本日の例会プログラム 会員増強月間について

会員増強・退会防止委員会

◎次回例会プログラム ゲスト卓話「豊前中津の黒田節」

松本達雄氏



前回(1036回例会)の記録

平成23年8月11日(木)

■ゲスト

(株)千雅 代表 田中真代氏

■出席報告

会 員 数 24名

免 除 者 数 1名

対 象 者 数 23名

本日出席者 18名

欠 席 者 数 5名

出 席 率 78.26%

■ビジター

中津RC

出利葉康博君

■前々回出席報告の修正

前々回欠席者 1名

メイクアップ 1名

欠 席 者 0名

修正出席率 95.65%→ **100%**

●メイクアップ

矢頭会員(中津)

●欠席者

なし

◎ロータリーソング 我らの生業

◎会長の時間 会長 二反田新一

本日は、現在中津城を運営されています、(株)千雅の田中社長をお迎えしての例会でございます。(株)千雅さんには、中津のひな祭り、たにし祭り、中津祇園、そして来月に予定されています新能と、さまざまな行事や新しい企画で、地元をこれまで以上、大いに盛り上げていただけてますことにお礼申し上げます。

皆さんご存知の通り、中津は黒田如水が築城してから400年の歴史ある城下町であり、多くの偉人を輩出した、正真正銘の「歴史と文化のまち」です。市内のいたるところにそれらを物語るお宝も満載です。が、それを十分に活かしきれていないのが現状のようです。

最近、私が気付いたことがあります。私の会社の醤油蔵は昭和34年に建てられましたが、骨組みの木材、瓦、窓建具等と殆どの材料は、当時解体された、本耶馬溪の樋



田小学校の部材で建築されました。材木自体は100年ほど経過していると思われます。直径1mほどある蔵の大きな梁は、普段手の届かない高い場所な為、拭き掃除をした記憶が私にはありませんでしたが、昨年思い立ち、そのうちの1本を梯子をかけて磨いてみました。驚いたことにすばらしく深い光沢が現れてきたのです。50年間一回も磨いたことのない梁の材木からです。

古いものは、そのままにしまうと本当に古ぼけてしまいます。しかし、常に磨かれメンテナンスされているものは、古ければ古いほど私の目には「かっこいい物」に映ってきます。中津の町並みにも磨けば光るものが沢山眠っていると思います。同時に今磨かなければ、取り返しのつかないものもあります。

ロータリー活動の一環として、今期はこのようなことにも目を向けていこうと、社会奉仕の活動計画に記述させていただいています。皆様の意見やアイデアをどうぞよろしくお願いいたします。

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」 “Reach Within to Embrace Humanity”



2011～2012年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2011～2012年度
国際ロータリー・テーマ
こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

◎幹事報告 幹事 若松定生

●例会変更 津久見RC

●週報受理 津久見RC、中津中央RC、熊本平成RC、八代RC

●幹事報告

- ・ロータリーアン誌（英文）届く
- ・中津中央RCよりクラブの現況及び活動計画書届く
- ・ガバナーより公式訪問のお礼状
- ・4クラブ姉妹交流会の案内を再度廻します。
H23年11月5日（土）熊本全日空ニュースカイホテル
- ・7月21日 ガバナー公式訪問写真代 1,050円
7月25日 納涼例会 2,500円
10月会費と一緒に引き落とします

●理事会報告

- ・次期会長エレクトに渡辺会員決定
- ・副会長、理事変更のため、8月25日に臨時総会開催



◎委員会報告

なし

◎ニコニコボックス 担当：ロータリー情報委員会

○二反田会長

今期初めての100%出席が達成できたので

○若松幹事

今日のゲストは中津城の運営会社の田中社長さんです。
宜しくお願いします。

○矢頭会員

以前から中津城と縁があり、奥平神社の総代としてたにし祭に参加してきました。今後も宜しくお願いします。

○土居会員

今後も中津の観光シンボル、中津城を宜しくお願いします。

◎ゲスト卓話

「中津城について」

(株)千雅 社長 田中真代氏



新生中津城ビジョン

- ・中津市の観光の象徴として、観光資源の価値をさらに高め、全国及び東アジアに向けて広く発信していく。
- ・中津市民との深い交流を通じ、故郷の城として、誇りと喜びと活気を与える存在となる。
- ・奥平家と中津市の歴史と功績を伝え、教育する場所として、子供達の郷土への愛情と誇りを醸成する。

中津城（奥平家）のブランドを構築するための主要要素

- ・日本の歴史上、最も有名な戦いの一つである長篠の戦いにおいて、多大な軍功を挙げ譜代大名となった奥平家
- ・奥平信昌公（徳川幕府初代京都所司代）

- ・奥平信昌公正室の亀姫（家康公長女※正室から只一人の女子）
- ・忠義の士 鳥居強右衛門（とりいすねえもん）
- ・徳川家康公の手紙及び拝領の品（白鳥の槍）
- ・奥平忠昌公（信昌公孫 家康公曾孫 白鳥の槍を拝領）
- ・徳川御連枝としての格式の高さ（信昌公の次男、三男、四男は家康公の養子へ：四男松平忠明公は江戸幕府大政参与、三代将軍家光公後見人）
- ・日本の蘭学の発展に貢献
- ・中津藩士福澤諭吉
- ・慶應義塾の創立に貢献

サブの要素

- ・日本三大水城
- ・黒田公及び細川公築城の石垣
- ・細川忠興公お手植えの松

中津城主催のイベント

- ・2月26日（土）・27日（日）人間ひな祭り

天守閣前広場に巨大な雛壇を設置。お内裏様とお雛様役の二人はその前の1年間に結婚した中津市民から二組を公募。計15名が登壇。

- ・5月21日（土）中津城たにし祭

長篠の戦いの前哨戦である長篠城籠城戦において、奥平信昌公の率いる籠城部隊が、城内の食料が尽きても、堀の「たにし」を食べて織田・徳川の援軍が到着するまで、城を守り通したことに由来。

- ・9月19日（月）敬老の日 第一回中津城薪能（観世流）

能楽は武将に愛されて発展した日本が世界に誇る伝統芸能である。また能楽の観世流は、奥平家2代目信昌公の正室である亀姫の実父、徳川家康公によって厚く保護された歴史から、奥平家の居城である中津城にも深い縁がある。このイベントは中津城天守閣の周辺を約二万個の紙灯籠で飾る「城灯り」とのコラボ企画でもある。



人間ひな祭り